

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	論理国語	2	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
精選 論理国語（数研出版）	評論速読トレーニング1000三訂版（数研出版） 入試頻出漢字＋現代文重要語句TOP2500三訂版（いっずな書店） テーマ別論理国語ベストクリア2（尚文出版）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
	思	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
	体	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
学ぶということ 具体と抽象	筆者の考えを根拠とともに読み取ろう。 抽象的な表現の内容を踏まえて、筆者の考えに対する自分の考えをまとめられるようにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	4月 ～ 5月
具体と抽象 表現	哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解し、語彙力を豊かにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	6月 ～ 7月
普遍的な言葉 近代と現代の視点	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考えて紹介できるようにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	7月 ～ 9月
近代と現代の視点	二つの文章の共通点と相違点を読み取れるようになる。 筆者の意見を読み取ったうえで、実社会の課題に対する自分の意見を書けるようになる。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	10月 ～ 11月

近代と現代の視点 表現	文章を読んで関心を持った事柄について課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめてわかりやすい報告を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト 	1 2 月 ～ 3 月
----------------	--	---	----------------------------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	40 % 程度	40 % 程度	20 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	<p>たくさんの文章を読み、語彙力をつける1年にしましょう。</p> <p>また、文章やグラフの読み取りから現状に対する課題意識を持ちましょう。</p>
--------	--

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	文学国語	2	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
文学国語（数研出版）	テーマ別 文学国語ベストクリア 2.5（尚文出版）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
	思	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	体	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
平成の小説	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やそう。登場人物の心情の変化を読み取ろう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	4月～5月
文学の扉	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	6月～7月
昭和後期の小説	登場人物の行動から心情を読み取ったうえで、自分の意見をまとめられるようにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	7月～9月
昭和後期の小説 詩歌	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察してみよう。 自由に発想して詩歌を創作してみよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	10月～11月
大正の小説	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈してみよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	12月～3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	40 % 程度	40 % 程度	20 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	文学作品にたくさん触れ、登場人物の心の動きを読み取れるようにしよう。
--------	------------------------------------

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	古典探究	2	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
古典探究（第一学習社）	新しい古典の学習 2 in1 スタイル学ぶぞ古文と漢文新装版(尚文出版) 新しい古典の学習 2 in1 スタイル学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート （尚文出版） プログレス古典総演習標準編四訂版（いっずな書店） みるみる覚える古文単語 300 + 敬語 30 三訂版（いっずな書店）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	体	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
説話	古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解しよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	4月～5月
物語 故事・寓話	現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解しよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	6月～7月
物語 随筆	敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	7月～9月
日記文学 項羽と劉邦	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解しよう。漢文の句法を覚えよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	10月～11月

物語 諸家の思想	思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト 	1 2 月 ～ 3 月
-------------	--------------------------------	---	----------------------------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	40 % 程度	40 % 程度	20 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	古文の敬語表現や漢文の句法を覚えよう。 古典文法は主に1年生で習ったものです。今のうちに復習しておきましょう。
--------	--

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
地理歴史	日本史探究	3	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
「詳説 日本史探究」（山川出版社）	「新詳日本史」（浜島書店）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
	思	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
	体	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> 考古学の観点から、資料を用いて当時の生活や文化を考察してみよう。 ムラやクニといった小社会形成の原因等を考察してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 授業の取組 提出課題 	4月
第2章 古墳とヤマト政権	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアを中心に点在する史資料をもとに日本の立ち位置や文化的背景を考察してみよう。 日本の国際的な交流関係から、歴史を俯瞰してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 授業の取組 提出課題 	4月 ～ 5月
第3章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの天皇の政治に着目して、律令国家ができていく課程を考察してみよう。 蝦夷や東アジアとの関係変化に着目して、生活や文化の変化を考察してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 授業の取組 提出課題 	6月
第4章 貴族政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> 奈良時代や平安初期と比較し、政治制度の変化について考察してみよう。 権力者の移り変わりに着目してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 授業の取組 提出課題 	7月 ～ 9月

第5章 院政と武士の躍進	<ul style="list-style-type: none"> ・武士出現の原因を考えて、時代の転換点を考察してみよう。 ・土地制度の変化について着目してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業の取組 ・提出課題 	10月
第6章 武士政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の支配における公武の関係を平安時代と比較し、考察してみよう。 ・東アジアとの交流が日本にもたらした影響を考察してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業の取組 ・提出課題 	10月～11月
第7章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治的な村の成立過程やその背景を、経済活動の発展や地理的な要件から考察してみよう。 ・戦国大名の台頭した背景やそれに関連する社会生活の多様性を考察してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業の取組 ・提出課題 	11月～12月
第8章 近世の幕開け	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権におけるそれぞれの政策の目的、意図を理解しよう。 ・欧州の影響が日本にもたらした影響について考察してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業の取組 ・提出課題 	1月
第9章 幕藩体制の成立と展開	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権と江戸幕府の機構について比較してその相違点や共通点を見いだしてみよう。 ・江戸幕府が安定期になる経過や政治政策について理解しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業の取組 ・提出課題 	1月～3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	47 % 程度	20 % 程度	33 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	<p>歴史上の出来事の背景を考えることで、より理解が深まります。 ふとした、なぜ？という疑問を大事にして学んでいきましょう。</p>
--------	--

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
地理歴史	世界史探究	3	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
詳説世界史（山川出版社）	アカデミア世界史（浜島書店）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	思	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	体	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
世界史へのまなざし	・ 自然環境や物事から世界の歴史をとらえよう。身近なものの歴史を調べてみよう。	・ ワークシート ・ 授業態度 ・ 定期考査	4月
第1章 文明の成立と古代文明の 特質	・ 古代文明の特徴を理解し、共通点を考察しよう。 ・ 古代文明が歴史に与えた影響を考察しよう。	・ ワークシート ・ 授業態度 ・ 定期考査	4月 ～ 5月
第2章 中央ユーラシアと東アジア 世界	・ 2つの世界で形成された社会や王朝について理解しよう。 ・ それぞれの社会や王朝と周辺地域との関係について考察しよう。	・ ワークシート ・ 授業態度 ・ 定期考査	5月 ～ 6月
第3章 南アジア世界と東南アジア 世界の展開	・ 南アジアで誕生した諸宗教や東南アジアで成立した社会について理解しよう。 ・ 宗教と社会の関係について考察しよう。	・ ワークシート ・ 授業態度 ・ 定期考査	6月 ～ 7月

第4章 西アジアと地中海周辺の 国家形成	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと地中海周辺に正立した諸国家の特徴を理解しよう。 ・イラン・ギリシア・ローマに成立した文明が歴史に与えた影響について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	7月～9月
第5章 イスラーム教の成立と ヨーロッパ世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の成立について理解しよう。 ・ヨーロッパ世界の成立について理解しよう。 ・イスラーム教が西アジア社会、ヨーロッパ社会に与えた影響を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	9月
第6章 イスラーム教の伝播と 西アジアの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教はどのような地域へ広がったのかを理解しよう。 ・外部勢力のイスラーム世界への侵入とその影響について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	10月
第7章 ヨーロッパ世界の変容と 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの「中世」とは何か、政治・経済・文化などの面から理解しよう。 ・ヨーロッパ世界の拡大や中央集権国家の成立の背景を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	10月～11月
第8章 東アジア世界の展開と モンゴル帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・宋代、元代と同時代の東アジア諸国家について、経済などの面から理解しよう。 ・モンゴル帝国が世界の歴史に与えた影響を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	11月
第9章 大交易・大交流の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの交易世界とそれに参加するヨーロッパの海洋進出について理解しよう。 ・「世界の一体化」が進んだことによる影響について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	12月
第10章 アジアの諸帝国の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアに成立した諸帝国の特徴を理解しよう。 ・それぞれの帝国は、それまでの国家や王朝と何が違うのか考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	1月
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・近世ヨーロッパにおけるルネサンス、宗教改革、主権国家、文化について理解しよう。 ・近世ヨーロッパはそれ以前のヨーロッパと何が違うのか考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	1月～3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	47 % 程度	20 % 程度	33 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	授業は教員と生徒の皆さんと一緒に作り上げていくものです。歴史の学習を通して、物事を多面的・多角的に見たり考えたりする力を身につけましょう。皆さんの考えを聞く機会も持ちたいと思っています。考えを表現する練習をしましょう。
--------	---

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
公民	公共	2	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新版 公共(数研出版)	新版 公共整理ノート(数研出版)

学習目標	社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え、対話を通じて合意形成を目指し、公共的存在としての能力を養う。
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	思	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
	体	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 期 予 定 時
第1章 公共的な空間をつくる私たち	・先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付きながら学んでみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	4月 ～ 5月
第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察してみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	5月 ～ 7月
第3章 公共的な空間における基本原理	・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察してみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	9月
第4章 現代の民主政治と政治参加の意義	・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付いてみよう。 ・各党の綱領を調べ、その政策を知ってみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	10月 ～ 11月

第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察してみよう。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	1 2月 ～ 1月
第6章 国際社会の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考えてみよう。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できるようにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 ・定期考査 	2月
持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業態度 	3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	47 % 程度	20 % 程度	33 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	主体的に授業に参加し,社会的事象に対して多面的・多角的な見方・考え方を身に付けていきましょう。
--------	---

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学Ⅱ	3	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新編 数学Ⅱ（数研出版）	REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版）

学習目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解し，基礎的な知識の習得し，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を身に付ける。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	いろいろな式，及び微分・積分の考えについての基本的な概念を理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
	思	方程式を用いて図形の性質を論理的に考察したりする力，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。
	体	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第1章 式と証明	①公式を用いて、基本的な問題を解けるようにすること。 ②証明の基本的な方法や流れを身につけること。	定期考査 REPEAT ノート 長期課題プリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	4月～ 5月
第2章 複素数と方程式	①公式を用いて、基本的な問題を解けるようにすること。 ②高次方程式の解き方を理解し、基本的な問題を解けるようにすること。	定期考査 REPEAT ノート 長期課題プリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	5月～ 6月
第3章 図形と方程式	①公式を用いて、基本的な問題を解けるようにすること。 ②方程式と図形のつながりを理解すること。	定期考査 REPEAT ノート 長期課題プリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	6月～ 10月
第4章 三角関数	①公式を用いて、基本的な問題を解けるようにすること。 ②三角比を含んだ方程式や不等式を解けるようにすること。	定期考査 REPEAT ノート 長期課題プリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	10月 ～ 11月

第5章 指数関数と対数関数	①公式を用いて、基本的な問題を解けるようにすること。 ②指数関数や対数関数の定義を理解すること。	定期考査 REPEAT ノート 長期課題プリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	11～12月
第6章 微分法と積分法	①公式を用いて、基本的な問題を解けるようにすること。 ②微分・積分の考え方を理解し、基本的な問題を解けるようにすること。	定期考査 REPEAT ノート 長期課題プリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	12～3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	46 % 程度	31 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	何度も問題を解くことが必要です！近道はありません。 地道に反復練習をしていきましょう。
--------	--

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学B	1	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新編 数学B（数研出版）	REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版）

学習目標	数列，統計的な推測について理解し，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにする。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深める。
	思	日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付ける。
	体	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第1章 数列	①数列に関する用語，記号を適切に用いることができるようになる。 ②等差，等比数列の一般項を求められるようになる。 ③等差，等比数列の和を求められるようになる。 ④等比数列の和の公式を利用して数列の一般項を求められるようになる。 ⑤漸化式で定められる数列の一般項を求められるようになる。	定期考査 振り返りテスト 課題・実力テスト REPEAT ノート 長期休業中課題 プリント	4 月 ～ 7 月
総合問題	①確率変数とその分布の意味を理解しよう。 ②二項分布，正規分布について理解しよう。 ③正規分布を用いた区間推定と仮説検定の方法を理解しよう。	定期考査 REPEAT ノート	7 月 ～ 9 月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	46 % 程度	31 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末，2学期末，学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して

数 B+C は他分野と少し独立した範囲になりますので、今まで数学が苦手だった人は数学を得意にするチャンスです。できるようになるまで粘り強く頑張ろう！

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学C	1	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新編 数学C（数研出版）	REPEAT 数学C（数研出版）

学習目標	ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、数学のよさを認識できるようにする。
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学的に処理する技能を身に付ける。
	思	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
	体	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返ったり、評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第1章 平面上のベクトル	①ベクトルに関する用語、記号を適切に用いて、計算や表示ができるようになる。 ②ベクトルの内積の定義を理解し、内積を求めたり、2つのベクトルのなす角を求めたりすることができるようになる。 ③三角形の面積がベクトルを用いて求められることを理解し、座標平面上の三角形の面積を求めることができるようになる。	定期考査 振り返りテスト REPEAT ノート 課題・実力テスト 長期休業中課題 プリント	10月 ～ 12月
第2章 空間のベクトル	①空間のベクトルの演算ができるようになる。 ②空間のベクトルの内積やなす角を求めることができるようになる。 ③座標空間における2点間の距離や線分の内分点、外分点の座標、三角形の重心の座標が求められるようにしよう。	定期考査 REPEAT ノート 課題・実力テスト 長期休業中課題 プリント	12月 ～ 3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	46 % 程度	31 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して

数 B+C は他分野と少し独立した範囲になりますので、今まで数学が苦手だった人は数学を得意にするチャンスです。できるようになるまで粘り強く頑張ろう！

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	生物基礎	2	2	A

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
高等学校 生物基礎（数研出版）	改訂版 リード light 生物基礎（数研出版） 改訂版 リード light 生物基礎チェックノート（数研出版） 新課程 フォローアップ生物基礎「①生物と遺伝子」（数研出版）

学習目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	思	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	体	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	<p>「生物の特徴」では細胞の構造やそのはたらき、呼吸と光合成の仕組みを理解しよう。</p> <p>「遺伝子とそのはたらき」では DNA の複製や二重らせん構造、タンパク質の合成について理解しよう。</p>	<p>・リード light 生物基礎チェックノート （定期考査の課題）</p> <p>・小テスト</p> <p>・実験実習レポート</p> <p>・フォローアップ生物基礎 （夏休み課題）</p>	4月 ～ 9月
第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持	体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見だし理解しよう。自律神経系の働きや血液凝固の仕組みについても理解しよう。	<p>・リード light 生物基礎チェックノート （定期考査の課題）</p> <p>・小テスト</p> <p>・実験実習レポート</p>	10月 ～ 12月

第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系	植生の遷移をバイオームと関連付けて理解しよう。 生態系の保全の重要性を理解しよう。	・リード light 生物基礎チェックノート (定期考査の課題) ・小テスト ・実験実習レポート	1 〜 3 月
----------------------------------	--	---	------------------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	35 % 程度	35 % 程度	30 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	生物基礎を学ぶ意義は自分を大事にするためです。自分の具合が悪いことに気付くためには通常の体の状態を知っておかなければなりません。病院へ行ったとき、薬や治療の意味を理解するには体の仕組みを知っておかなければなりません。つらいトレーニングに耐えて最高のパフォーマンスをするためには体内での化学反応を理解しておかなければ前向きに取り組めません。「生きるため」の科目です。ぜひ、前向きに学んでください。
--------	---

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
保健体育	体育	3	2	全

学習目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
------	---

評価の観点 及びその趣旨	技	運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。
	思	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	体	活動に自主的かつ公正に取り組む、一人一人の違いを大切に、互いに助け合い教え合おうとしている。健康・安全を確保しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・持久走	(1)手軽な運動の実践を通して、心身の状態に気づき、仲間と積極的に関わろう。 (2)ねらいに応じて運動の計画を立て、体力を向上させよう。	・観察 ・ワークシート	4月 9月 11月
器械運動 ・マット運動	(1)技ができる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技で演技できるようになろう。 (2)仲間と教え合い課題を解決しよう。 (3)挑戦心を大事に自主的に取り組もう。安全の確保を意識しよう。	・観察 ・発表 ・ワークシート	6月 7月 (Ⅱ)
陸上競技 ・走・跳・投	(1)効率的な動きを身に付け、スピードや距離を向上させよう。 (2)仲間と課題を発見し、合理的な解決を目指そう。 (3)一人一人の課題を尊重し、自主的に活動に取り組もう。安全の確保を意識しよう。	・観察 ・計測 ・ワークシート	6月 7月 (Ⅱ)

球技 ・ゴール型 （サッカー、ハンドボール、バスケットボール） ・ネット型 （バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型 （ソフトボール）	<p>(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開しよう。</p> <p>※(ゴール型)安定したボール操作を身に付け、空間を効果的に使い攻防しよう。</p> <p>(ネット型)安定したボール操作、ラケット操作を身につけ、連携した動きで空いた場所をめぐる攻防をしよう。</p> <p>(ベースボール型)安定したバット操作と走塁と安定したグラブ・ボール操作による守備で攻防を展開しよう。</p> <p>(2) 自己やチームの課題を発見し解決に繋げよう。気づいたことは言葉にして相手に伝えよう。</p> <p>(3) フェアプレイを大切にし、作戦等の話し合いに積極的にに関わり、自主的な活動を目指そう。互いに教え合うことや、安全の確保を意識しよう。</p>	<p>・観察</p> <p>・ゲーム</p> <p>・スキルテスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>(I)</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>(III)</p> <p>12月～</p> <p>3月</p> <p>(IV)</p>
ダンス ・創作ダンス	<p>(1) 表現したいテーマのイメージを捉えて、緩急強弱のある動きや空間の使い方を工夫して作品を完成させよう。</p> <p>(2) グループの話し合いで表現方法を改善し、よい良い作品にしていこう。</p> <p>(3) それぞれの役割をよく考え、自主的に活動に取り組もう。</p>	<p>・観察</p> <p>・グループワーク</p> <p>・発表</p> <p>・ワークシート</p>	<p>6月</p> <p>7月</p> <p>(II)</p>
体育理論	<p>(1) 興味関心のあるスポーツの様々な側面について多面的に深め、知識を身に付けよう。</p> <p>(2) 身に付けた知識に対して考察を深め、自分の言葉で表現しよう。</p> <p>(3) スポーツの理論的学習に自主的に取り組もう。</p>	<p>・観察</p> <p>・レポート</p> <p>・発表</p> <p>・ワークシート</p>	<p>11月</p>

年間評価	知・技	思	体
観点別評価割合 《授業内評価》	40 % 程度	30 % 程度	30 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	<p>活動に意欲的に取り組み、技能の向上や勝敗を競う楽しさを味わおう。</p> <p>仲間と協力し、より良い活動を自主的に作り上げよう。</p>
--------	--

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
保健体育	保健	1	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
現代高等保健体育（大修館書店）	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

学習目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
------	--

評価の観点及びその趣旨	知	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
	思	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
	体	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
・生涯の各段階における健康	生涯を通じる健康の保持増進や回復のために、生涯の各段階における健康課題を理解しよう。健康課題の解決のためには、自己管理や環境が関わっていることを理解しよう。	・単元テスト ・ノート（ワークシート、レポート）	4月 5月 6月
・労働と健康	労働形態の変化やそれに伴う健康課題やその要因について理解しよう。健康的な職業生活を送るために、余暇をどのように活用すべきか考えよう。	・グループワーク ・発表 ・観察	7月 9月
・環境と健康	人間の生活や産業活動が環境に悪影響を及ぼす可能性があることを理解しよう。環境保全のために、社会や個人がやるべきことを考え、説明できるようにしよう。		10月 11月
・食品と健康	食中毒や食物アレルギーなど、健康の保持増進には食品の安全性が重要であることを理解しよう。食品の安全性を確保するための仕組みを理解しよう。		11月 12月

・保健・医療制度及び 地域の保健・医療機関	保健サービスの内容や、医療保険の仕組みを 理解し、有効に活用ができる知識を身に付け よう。医薬品の正しい使用方法を理解し、実 生活に活用できるようにしよう。	・単元テスト ・ノート(ワーク シート、レポー ト)	1月 2月
・様々な保健活動や 社会対策	私たちの健康課題のために、行政機関による 社会的対策を理解しよう。国際機関や民間機 関などの活動について説明できるようにし よう。	・グループワー ク ・発表 ・観察	2月
・健康に関する環境づくり と社会参加	ヘルスプロモーションの考え方を理解し、健 康の保持増進のための環境づくりに参加す ることが重要であることを理解しよう。健康 情報の正しい活用の仕方を考えてみよう。		3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 《授業内評価》	40 % 程度	30 % 程度	30 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	生涯を通じる健康について正しい知識を身に付け、 自分の考えを言葉で表現できるようになろう。
--------	--

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)	LANDMARK Fit English Communication II サブノート(啓林館) 超長文問題集 Long Run Reading PLUS (桐原書店) LISTENING TRIAL Stage1.5 及び 2 (文英堂) Viewpoint Basic 英文読解の着眼点 15 (数研出版)

学習目標	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備など、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。
	思	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題についての情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
	体	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
Lesson 1 「A Swedish Girl's Discoveries in Japan」	・既習の文法を用いて、話し方や発音を意識して英語を用いる。 ・不定詞や動名詞の意味や構造を理解し、文章から必要な情報を読み取る。	定期考査 課題	4 月 ～ 5 月 中旬
Lesson 2 「A Message from Emperor Penguins」 Lesson 3 「Tokyo's Seven-minute Miracle」	・現在完了形、分詞や形式目的語の意味や構造を理解し、本文の内容を理解する。 ・外国出身の人に紹介したい日本の文化について文章にまとめ、伝える。 ・日本の文化について調べ、適切な英語表現を用いて表現する。	定期考査 課題 パフォーマンス テスト	5 月 下旬 ～ 6 月 下旬
Lesson 4 「Seeds for the Future」 Lesson 5 「Gaudi and His Messenger」	・複合関係代名詞や完了形の意味や構造を理解し、本文の内容を理解する。 ・身の回りの社会課題に関心を持ち、それについて自分の考えを述べる。 ・分詞構文や知覚動詞の意味を理解する。 ・感銘を受けた歴史的建造物について、ペアやグループで話し合う。 ・歴史的建造物について調べ、適切な英語表現を用いて表す。	定期考査 課題・実力テスト 課題	7 月 上 旬 ～ 10 月 上旬

Lesson 6 「Edo: A Sustainable Society」	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞や助動詞の意味や構造について理解し、本文の要点を捉える。 ・江戸時代に培われた「もったいない」の精神について理解し、それについて自分の考えを述べる。 ・日常生活で無駄遣いをしていることと、その解決策・改善策について考え、英語で伝え合う。 	定期考査 課題 パフォーマンステスト	10 月 中 旬 ～ 11 月 中 旬
Lesson 7 「Biodiesel Adventure: From Global to Glocal」 Lesson 8 「Our Future with AI」	<ul style="list-style-type: none"> ・強調構文や完了形の分詞構文、部分否定の意味や構造を理解し、本文の要点を捉える。 ・文章を通して、「グローバル」について必要な情報を読み取り、要点をまとめる。 ・仮定法や関係代名詞 which の非制限用法の意味や構造を理解し、本文の概要を捉える。 ・A I の進歩について賛成か反対か、自分の考えを理由とともに述べる。 ・A I の進歩によって将来なくなる可能性がある職業について、自分の考えを伝える。 	定期考査 課題・実力テスト 課題 パフォーマンステスト	11 月 下 旬 ～ 3 月 中 旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	50 % 程度	27 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	語彙力が必要です。教科書や教材を漫然と見るだけでは力は伸びません。単語や英文をしっかりと声に出して読み、繰り返し練習しましょう。音読練習が話すこと・聞くことに繋がります。また、単語を覚えるときには必ず、音読しながらつづりを書き、覚えましょう。授業内の言語活動には、昨年度に引き続き、前向きに取り組みましょう。パフォーマンステストには、しっかり準備をして、臨んでください。
--------	---

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	論理・表現Ⅱ	3	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
EARTHRISE English Logic and Expression II Standard (数研出版)	チャート式 BIG DIPPER 高校英語 (数研出版) 英語コア構文 99+ α (文英堂) 必携英単語 LEAP Basic (数研出版)

学習目標	ドリルを通した文法事項の習熟。教科書で日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開など、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	英語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
	思	目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
	体	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
<i>Part1</i> Lesson 1 How interesting Japanese culture is! 文法の組み立て方、動詞と時の表し方	<ul style="list-style-type: none"> ・制服のメリットとデメリットを考え、ペアで伝え合う。 ・英文の基本形と時制を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題 ・小テスト 	4 月 ～ 5 月 中旬
<i>Part1</i> Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan Lesson 3 Precious water for all 助動詞、受動態 <i>Part 2</i> Lesson 2 I'm sure you can make it!	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに訪れた場所について英語で表現する。 ・水資源について受動態などを使って考えを伝え合う。 ・助動詞と受動態の用法と構造を理解する。 ・友達への感想や励ましのメッセージを英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題 ・小テスト ・パフォーマンステスト 	5 月 下旬 ～ 6 月 下旬
<i>Part 1</i> Lesson 4 What has happened recently? Lesson 5 I'm into music and movies! 不定詞、動名詞、分詞	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のニュースについて英語で伝え合う。 ・自分が好きな歌手や俳優、映画などについて英語で表現する。 ・不定詞や動名詞、分詞の用法と構造を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題 ・小テスト ・課題・実力テスト 	7 月 月上旬 ～ 10 月 月上旬

<i>Part 1</i> Lesson 6 Where do you usually buy clothes? 関係詞 <i>Part2</i> Lesson 3 How about trying this food?	・自分が欲しいものについて、理由とともに相手に伝える。 ・関係詞の構造を理解する。 ・日本のお勧めの食べ物を英語で表現する。	・定期考査 ・課題 ・小テスト ・パフォーマンステスト	10 月 中 旬 ～ 11 月 中 旬
<i>Part1</i> Lesson 7 What kind of books do you like best? Lesson 8 Inventions that changed the way we live 比較、仮定法 <i>Part 2</i> Lesson 6 Where would you like to live in the future?	・紙の本と電子書籍の好みについて英語で表現する。 ・我々の生活を大きく変えた発明について英語で表現する。 ・比較や仮定法の構造を理解する。 ・都会と田舎のどちらに住みたいかについて英語で表現する。	・定期考査 ・課題 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・課題・実力テスト	11 月 下 旬 ～ 3 月 中 旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 + 定期考査評価）	5 0 % 程度	2 7 % 程度	2 3 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	2年生では、1年生のときに学習した内容を再度見ることが多くなります。「復習」を強く意識しましょう。問題に繰り返し取り組み、知識として頭の中で整理し、話すことや書くことに繋げましょう。また、分からないところはそのままにせず、その都度先生や友達に聞いて解決しましょう。英語は積み重ねが大切です。小テストは満点を目指しましょう！
--------	---

※パフォーマンステストのテーマは適宜変更あり

※副教材の扱い

- ・チャート式 BIG DIPPER 高校英語（数研出版） 授業内や家庭学習で使用。
- ・英語コア構文 99+α（文英堂）授業内や家庭学習で使用。
- ・必修英単語 LEAP Basic（数研出版）小テストあり 範囲は別途指示します

令和7年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
家庭	家庭基礎	2	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
Survive!! 高等学校家庭基礎（教育図書）	Survive!! 高等学校家庭基礎ワークノート（教育図書） Life Desingn 資料+成分表+ICT 2025（実教出版）

学習目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
------	--

評価の観点及びその趣旨	知	生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	思	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
	体	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
オリエンテーション 「家庭基礎」の学習を始める 今の自分を見つめ、知る これからの人生を思い描いてみる	家庭基礎の学習内容を概観し、学習の見通しを持つ。今の自分を見つめ、なりたい自分について考える。 キャラクターのライフコースを参考に、自分のこれからのライフコースについて思い描き、なりたい自分に近づく方法について考える。	ワークシート ノート 実習課題	4月
1章 消費生活・環境 ・成年年齢の引き下げ ・契約と消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・消費者の意思決定 ・生活費と家計 ・将来の経済計画	成年（大人）と未成年の違いについて理解し、大人への準備期間をどう過ごすかを考える。 消費者トラブルと、消費者保護の仕組みについて理解する。 さまざまな決済方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分に合った利用方法について考える。 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	5月
2章 衣生活 ・人と衣服 ・衣服計画・衣服の表示 ・衣服素材の性能と着心地 ・衣服の構成	人間の生活と衣服のかかわり、衣服のおもな機能について理解する。 衣服の表示について理解し、日常生活の中での活用について考える。 衣服の素材の種類や特徴について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	5月～ 12月

・衣服の手入れ・管理 ・これからの衣生活	衣服の手入れや管理の必要性やその方法について、科学的に理解する。		
3章 食生活 ・人と食生活 ・食品と栄養素 ・食品の選択・保存 ・献立作成 ・調理の基礎	食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴について理解する。 食品の衛生と安全について理解する。 持続可能な食生活、安全で健康な食生活について考える。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	5月～ 1月
第8章 青年期・家族 ・青年期を生きる ・現代の家族 ・家庭生活の成り立ち ・家族と法律	人の一生を生涯発達の視点で捉え、生涯を見通し、青年期をどのように生きるか考える。 家族と社会のかかわりや、現代の家族・家庭の特徴について理解する。 家庭生活を支える基本的な法律について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	6月
ホームプロジェクト	生活の課題を見つけ、その改善方法を考え、実践する。 実践したことをまとめ、発表する。	レポート 発表	7月～ 9月
第4章 住生活 ・人と住まい ・ライフスタイルと住まい ・安全で衛生的な住まい ・これからの住生活	人と住まいとのかかわりや、住まいのおもな機能について理解する。 安全で快適な住まいの条件について科学的に理解する。 日本の住宅事情や課題を理解し、持続可能な住まい方の工夫について考える。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	10月
第5章 子どもの保育 ・子どもの発達 ・子どもの遊び ・子どもの生活・大人の役割 ・子育て環境、子育て支援	子どもの心身の発達の特徴について理解する。 子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 子どもの権利や福祉について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	11月～ 12月
第6章 高齢期の生活 ・高齢期を理解する ・高齢者の生活を支える仕組み ・地域で支える高齢社会	人生の一時期として高齢期を捉え、自分の将来像としての高齢期について考える。 高齢者を取り巻く社会の課題について理解する。 高齢期の心身の特徴について理解する。 高齢者を支える地域の役割について考える。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	1月～ 2月
第7章 共生社会 ・ともに生き、支え合う社会	共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。	ノート 定期考査	3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	50 % 程度	30 % 程度	20 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	知識や技術を身につけるとともに、周囲の人と意見を出し合い、気持ちを共有することが大切です。 学習を通して、生活にかかわるさまざまなつながりを再認識し、他者とかかわりながら、主体的に生活を創造していけるようになることを目指しましょう。
--------	---